

第 3 回都市政策部会 意見要旨

項目	意見要旨
全般	<p><運用方針のあり方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の将来像について、<u>どのくらいのスパンでどこを見据えてやっているのか分からないので、そこを表現してもらいたい。</u> ・<u>目標年次はぶれないよう設定すべき。20年先を想定して議論するのと、5年先の議論をするのとでは違うと思う。</u> ・現在ある制度については整理されているが、<u>今の制度でできないことを「新たに求める制度」として頭出しし、議論の中で必要性・効果を取りまとめてはどうか。</u>広島県の独自性も出る。 ・(都市政策を実現するための) 財源目途について記載してはどうか。 ・都市生活を送る上で企業活動は重要であり、事業継続計画、特に災害時や復興時について、都市計画と一緒に考えていく必要がある。 ・住民にわかりやすいものとするため、優しい言葉や事例を加えるなど、最終的に作ってほしい。 <p><具体の制度運用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の項目でいうとコンパクト+ネットワークと安全・安心がミックスして、お互いに関連した目標の作り方が必要と考える。<u>5つの将来像毎にそれぞれ案が出ているが、相互に関係するところもあるので、表現を検討してもらいたい。</u> ・<u>土地利用の誘導規制について、都市計画法の中だけでなく、防災の観点から、土砂災害防止法等の関連する他法令による規制についても記載してはどうか。</u> ・目指す都市像を踏まえた基本的な考え方を記載するべきではないか。

項目	意見要旨
コンパクト+ネットワーク型の都市	<p>＜線引き都市計画区域における土地利用に関する方針＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域の拡大について、<u>人口減少の中、原則禁止とし、市街化区域を拡大はしないということを強めに記載してもよいのではないか。</u> ・コンパクトシティを考えると、業務集積地の建物は、下層に商店、中層にビジネス層があつて、上層に居住区があるというのが一番理想的な形なのではないか。 ・立体的な用途地域について、<u>地区計画等の活用で対応するとしても、強めに記載してもいいのではないか。</u> ・業務集積地に集合住宅等を立地することを避けたいのか、まちなか居住を推進したいのか、論点が明確になるような表現に変更したほうが良い。 ・都市計画区域外でも準都市計画によって土地利用規制ができることを加えていただきたい。 ・都市の郊外化抑制のための規制強化について、<u>市町主体では地元との関係もあり難しいことがある。県は、市町の意見を聞くだけでなく、市町に代わり規制強化を行うなど、広域行政として思い切った対応を行ってはどうか。</u> ・50戸連たんの開発許可については、実情に応じて必要最低限の運用になるよう、見直しや廃止を含めた検討を行うというときの「必要最低限」というのは、どう判断できるのか。 <p>＜良好な市街地整備の手法の検討＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業について、<u>事業が動かない時代背景を踏まえて（身の丈に合った）事業スキームを考慮しながら進めることを記載してはどうか。</u> ・市街地にある老朽化した工業地帯の再生を図るような土地区画整理事業はないだろうか。 <p>＜コンパクトなまちづくりを推進する適切な都市施設整備の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>コンパクトなまちづくりに向けて都市施設の計画的な整備は当然として、計画的な廃止や見直しなども有り得ると思うので、記載が必要ではないか。</u>
安全・安心に暮らせる	<p>＜自然災害に強い土地利用の規制・誘導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既成市街地における対策について、<u>敷地嵩上げなど住民合意による地区計画を使うことができるので、加えてもらいたい。</u>